

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	地域診療情報連携推進事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～平成23年度	担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室	室長：石井安彦			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の中心的役割を果たしている医療機関にWeb型電子カルテシステムを導入することで、周辺の連携医療機関においても、セキュリティが確保されたインターネット等を介して電子カルテシステムの活用を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域において中心的役割を果たしている医療機関と周辺の医療機関が、医療情報ネットワークを構築するため、Web型電子カルテの導入を促進するための補助を実施した。 (補助率 1/2)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	134	592	248		
		補正予算					
		繰越し等					
		計	134	592	248		
	執行額	115	493	241			
執行率(%)	85.8%	83.3%	97.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	統合系医療情報システム(オーダリングシステム、統合的電子カルテ等)の普及率 (医療施設調査調べ)	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助実績施設数	活動実績 (当初見込み)		5	24	10	-
					( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	24,821,600(円/1施設当たり)	算出根拠	248,216,000/10施設=24,821,600/1施設当たり				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 ・ 状況 ・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT技術を活用し医療情報連携を推進する事業であり、ニーズ、優先度が高い事業である。</li> <li>地方自治体を越えた地域の医療情報連携も可能となるよう、国が実施すべき事業である。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流れ 、 費目 ・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交付申請額を確認し、コスト削減に努めた。</li> <li>交付要綱において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。</li> <li>補助事業であり、交付申請書を審査して事業に必要なもの限定して交付決定している。</li> </ul>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績 、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業での実施が最も有効である。</li> <li>適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。</li> <li>事業実績報告書において成果の報告を受け、実績把握している。</li> </ul>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	平成23年度で本事業は終了したが、平成23年度の執行率は97.2%と高く、殆ど不用が出なかったことは、ニーズに即した事業が実施できたとともに、ICT技術を活用した医療情報連携が推進できた。		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	106	平成23年行政事業レビュー	0087

厚生労働省  
241百万円

[Web型電子カルテの導入経費に対する補助]

※補助率1/2



【補助】

A.医療機関(10)  
241百万円

[Web型電子カルテの導入]

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(財)東京都医療保健協会 練馬総合病院			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	Web型電子カルテシステムの導入	63			
計		63	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)東京都医療保健協会 練馬総合病院	Web型電子カルテシステムの導入	63		
2	学校法人慶應義塾大学病院	Web型電子カルテシステムの導入	39		
3	医療法人光臨会荒木脳神経外科病院	Web型電子カルテシステムの導入	37		
4	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	Web型電子カルテシステムの導入	33		
5	稲城市立病院	Web型電子カルテシステムの導入	18		
6	医療法人 溪仁会手稲溪仁病院	Web型電子カルテシステムの導入	14		
7	長野赤十字病院	Web型電子カルテシステムの導入	10		
8	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院	Web型電子カルテシステムの導入	10		
9	(独)国立病院機構別府医療センター	Web型電子カルテシステムの導入	9		
10	社会医療法人 祥和会脳神経センター大田記念病院	Web型電子カルテシステムの導入	8		